

花(ハナ)の音(ネ)

思わず「すっぴんおーい」という言葉とともに立ちつくしてしまいました。これは何万本という世界です。



目を細めると、ピンクの穂(むぎ)を敷き詰めたれんげ畑のようにも見えます。れんげ、菫、ハスの花、あらためてその名の由来に納得しました。



十市の石土池に行ってみませんか

ブラックバスの釣り場、水鳥のオアシス、そして夏の間はまさしく一面のハスの花。

ブル・ルーア・フィッシングの少年たち。熱心に撮影しているカメラマン。池の内側の土手を散歩する人たちがあちこちに見えます。ハスの花を近くで見る事ができる所まで下りていくと、手のひらをこんもり合わせたような蕾は濃いピンク、葉と咲いた花は白、ピンクのもの。そして、何度が目にしたハリリとかすかな音をさせて落ちた花は白に近い色でした。音といえは、ハスの花は咲くとき音がすると聞いたので、耳をすましてみるのですが全然聞こえません。

しかし、この花全部が咲くとき音を出すとしたら、どんなことなるのか気になりますよね。日を変えて、もつと早く行ってみました。その日は、人影も少なく静かな朝です。そつと釣り人に尋ねてみましたが、「そういう

いその遠くの音は、確かに何回も聞こえました。あれが本当にハスの花の開くときの音なのでしょう。

池のそばに、池の由来・水鳥のこと・ハスの花のこと・ブラックバスのこと、他の魚のこと・空き缶や釣り糸の始末のことなど、知りたいことや知らせたいことなどの説明板があったらいいなあと思いました。

稲生を辿って北側から池に向かってもよし、海沿いの県道14号春野赤岡線から十市パークタウンに入るもよし。これから行くとすると、花はもちろんシャワーヘッドのようなハスの実の大きの出現も、ちょっととした見ものです。

話は聞くけれど、よう分からず「とりのこと」です。「タン」とか「バン」というような、鳥を脅かすような音は、さつきから遠くの方から聞こえるのですが、「まてまて」というような音です。とてもあのピンクの花びらから発する音とは思えないのです。まもなく聞くという感じの音をしっと見つけていて、音の出る瞬間に出くわさないかぎり信じていることができた

